

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり11.9人と、4週連続して減少していますが、まだ注意報レベル(定点当たり10.0人)を超えており、多い状態となっています。

集団かぜによる学級閉鎖等も、第9週は15件の報告があり、2月初旬に比べるとやや減少していますが、依然として発生が続いており、注意が必要です。

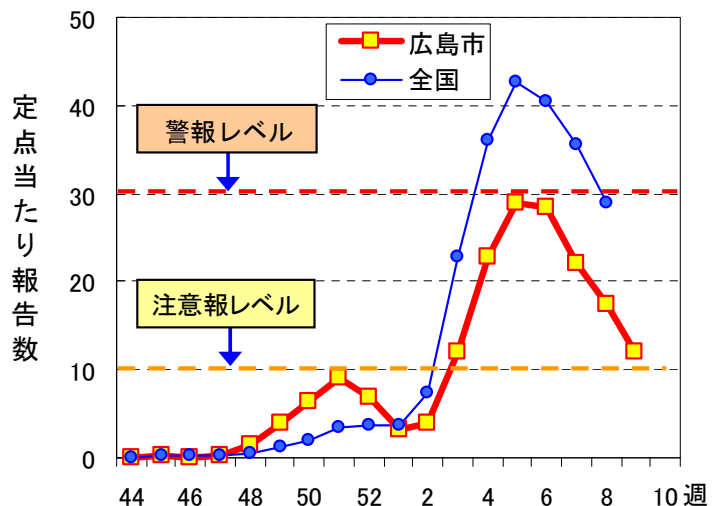
2. 感染性胃腸炎

定点当たり12.9人報告されており、多い状態が続いています。

また、感染性胃腸炎の集団発生が2件(うちノロウイルス1件)報告され、1月以降の累計は8件(うちノロウイルス6件)となりました。福祉施設・保育園・学校などの集団生活の場では特に注意が必要です。

寒い日が続いていますので、健康管理に注意し、手洗い・うがいの励行など感染予防対策に心がけてください。

インフルエンザ



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平過 均去5 (注年 間)	発生 記号	疾患名	報告数	定点当り	平過 均去5 (注年 間)	発生 記号
インフルエンザ	440	11.89	13.86	◇	ヘルパンギーナ	-	-	0.04	
咽頭結膜熱	10	0.42	0.40		流行性耳下腺炎	2	0.08	0.82	
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	49	2.04	1.92	▲	RSウイルス 感染症	6	0.25	0.20	
感染性胃腸炎	309	12.88	12.60	→	急性出血性 結膜炎	-	-	0.03	
水痘	36	1.50	1.42	→	流行性角結膜炎	2	0.25	0.53	
手足口病	-	-	0.51		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	5	0.21	0.31		無菌性髄膜炎	-	-	-	
突発性発しん	11	0.46	0.62		マイコプラズマ 肺炎	1	0.14	0.40	
百日咳	2	0.08	0.07		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	7	46	女性(20歳代)・1人、男性(40歳代)・2人、女性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人
5	後天性免疫不全症候群	1	5	男性(20歳代)・感染者

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第5週	1,071	8	20	265	34	－	7	10	－	－	3	25	－	2	－	－	5	－
		第6週	1,055	8	35	270	37	－	5	3	4	－	4	21	－	－	－	5	－	
		第7週	814	6	40	328	39	－	1	10	1	－	2	11	－	1	－	2	－	
		第8週	625	－	32	334	29	2	5	9	3	－	2	5	－	1	－	1	3	－
		第9週	440	10	49	309	36	－	5	11	2	－	2	6	－	2	－	－	1	－
定点当り	広島市	第5週	28.95	0.33	0.83	11.04	1.42	－	0.29	0.42	－	－	0.13	1.04	－	0.25	－	－	0.71	－
		第6週	28.51	0.33	1.46	11.25	1.54	－	0.21	0.13	0.17	－	0.17	0.88	－	－	－	－	0.71	－
		第7週	22.00	0.25	1.67	13.67	1.63	－	0.04	0.42	0.04	－	0.08	0.46	－	0.13	－	－	0.29	－
		第8週	17.36	－	1.33	13.92	1.21	0.08	0.21	0.38	0.13	－	0.08	0.21	－	0.13	－	0.14	0.43	－
		第9週	11.89	0.42	2.04	12.88	1.50	－	0.21	0.46	0.08	－	0.08	0.25	－	0.25	－	－	0.14	－
	全国	第7週	35.44	0.25	2.36	7.41	1.51	0.11	0.16	0.45	0.02	0.02	0.51	0.42	0.02	0.60	0.02	0.01	0.84	0.03
		第8週	29.04	0.25	2.34	7.11	1.45	0.11	0.17	0.46	0.02	0.01	0.49	0.43	0.02	0.58	0.02	0.03	0.82	0.03

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.6) 下気道炎 肺炎	6	女	2012/02/14	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(38.0)	12	女	2012/02/17	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(38.0)	9	男	2012/02/16	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型
インフルエンザ	発熱(40.0) 上気道炎 気管支炎	3	女	2012/02/18	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型
インフルエンザ	発熱(37.8)	26	女	2012/02/22	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(39.0)	13	女	2012/02/22	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H3)型
感染性胃腸炎	嘔吐下痢 痙攣	1	女	2012/01/24	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	嘔吐下痢	2	男	2012/01/26	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	嘔吐下痢	3	男	2012/01/29	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	嘔吐下痢	0	男	2012/01/29	糞便	ノロウイルスG2群

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

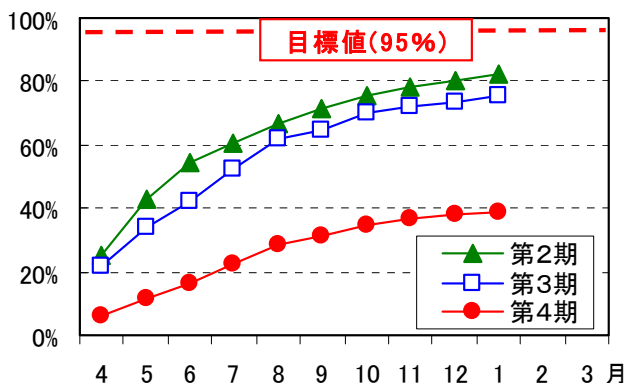
★麻しん(はしか)の予防接種を受けましょう。

**2期、3期、4期対象の方の接種期間は、
3月31日までです！**

接種期間を過ぎると任意の予防接種となり、全額自己負担になります。麻しん風しんの定期予防接種は1期(1歳児)、2期(小学校就学前の1年間)のほか、予防接種をこれまでに1回しか受けていない年齢層を対象に、第3期(中学1年生相当)、第4期(高校3年生相当)が追加されています。また、平成23年度は高校2年生相当の方も第4期として予防接種を無料で受けることができます。

※麻しん風しん定期予防接種についての問い合わせ先
各区保健センター、または健康福祉局保健医療課

麻しん風しん予防接種の累積接種率(平成23年度)



(注)第4期の累積接種率については、母数(接種対象者)を高校2年生相当と3年生相当を合計したものとしているため、接種率が低い値になっています(平成23年度の高校2年生相当は、平成24年度も接種対象となっています)。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2012年第9週(2月27日～3月4日)